

■日時 8月9日(月) ■天候 晴れ 富山県立雄峰高校・通信制 対 長野県松本筑摩高校
 ■球場 葛飾スポーツセンター 第2試合 1回戦 ■試合時間 3時間34分 ■備考
 ■審判 球審:伊藤 塁審:清水 小林 岸谷

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
松本筑摩	信越・長野	0	2	1	2	3	0	0	0	0	0	1	0				9	5	4
雄峰・通	北陸・富山	2	0	1	1	2	0	0	0	2	0	1	1				10	5	5

松本筑摩		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1	中		松澤世名	3	1	1	1	三振		左飛	三安		四球		三犠			四球			
2	二		宮入良太	5	1	0	0	三振		四球		二失	捕ゴ		一ゴ			三振			
3	右		三溝太一	0	0	0	0														
4	三		土屋敬太	4	1	0	0	投ゴ		三振		四球	投ゴ		遊ゴ			投ゴ			
5	投		塩原滉季	6	0	2	1		振逃	遊安		一飛	一邪			右安		二安			
6	遊		坂口和	4	2	0	0		投ゴ	三振		四球		四球		三振		三ゴ			
7	一		古田一貴	5	2	0	0		投選		三振	三失	三振		遊ゴ			投ゴ			
8	右	二	所凌祐	3	1	1	1		右安	四球	四球	三振				遊ゴ		三振			
9	左		高山裕司	3	1	0	0		四球	四球	左安						三振		四球		
	捕		川上周平	3	0	0	0		左飛		捕犠	三飛			死球		三ゴ				
合計				36	9	4	3	残塁:8 併殺:0													
備考																					

■バッテリー

投手
塩原滉季

捕手
川上周平

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
塩原滉季	12	52	10	15	8	2

雄峰・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1	中		尾塩健	6	1	0	0	中飛	捕邪		遊直		三振		遊失		投ゴ				
2	遊	投	白川恭平	5	1	1	1	中安	三振		投ゴ		捕邪		三ゴ		中犠				
3	捕		高木英貴	2	3	0	0	四球		四球		四球		三振		三振		三失			
4	一	遊	青木隆典	5	1	1	3	中安		三振		四球		三ゴ		捕安		中飛			
5	二		瀧脇智樹	4	1	1	0	三振		捕犠		三振		三振		三振		遊安			
6	投	一	高長良弥	3	0	1	1	三振		左安		四球			四球		三振		四球		
7	左		野替陵汰	4	0	0	1		四球	三振				左犠		左直		左飛		遊飛	
8	右		久郷直人	2	0	0	0		三振		投ゴ										
8	右		館森侑也	3	0	0	0					三振			三振		三振				
9	三		奥野浩正	4	3	1	0		遊選		中安		二ゴ			投安		二安			
合計				38	10	5	6	残塁:7 併殺:0													
備考																					

■バッテリー

投手
高長良弥
白川恭平

捕手
高木英貴

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
高長良弥	9	42	5	12	9	2
白川恭平	3	9	1	4	2	1

■戦評

大会第1日目、葛飾スポーツセンターの第2試合、雄峰対松本筑摩の対戦、まず先制したのは雄峰、1回裏、安打と四球、盗塁で一死二・三塁から4番青木が敵時中前打を打ち2点先制。一方の松本筑摩は2回表、敵失絡みで1点を返しながら一死三塁から7番所の右前適時打で同点に追いつく。続く3回表には四球、盗塁で一死二塁から4番塩原の内野安打の間に1点を奪い逆点に成功。3回裏雄峰は四球の走者を6番高長が左前適時打で返すかす3-3の同点に追いつく。4回表松本筑摩は二つの四球と犠打、敵失などで2点を奪う。その裏雄峰は安打で出塁した9番奥野が盗塁などで三塁に進み相手投手の三塁牽制悪送球で1点を返す。5回表松本筑摩が三つの四球と敵失などで3点を奪い8-4とリードを広げる。5回裏雄峰は三つの四球と敵失、犠飛などで2点を返し8-6と追いつく。5回まで点の取り合いだったが6回から松本筑摩・塩原、雄峰・高長両先発投手が落ち着きを取り戻し、9回表まで無得点に抑える。9回裏2点を追う雄峰はこの回先頭9番奥野が内野安打で出塁するとすかさず二盗・三盗を決め1番尾塩のショートゴロ悪送球の間に生還し1点を返す。なお二死三塁から4番青木の内野安打の間に尾塩が生還し土壇場で8-8の同点に追いつく。延長11回表松本筑摩は10回から代わった雄峰2番手白川を攻め四球と盗塁などで二死三塁からワイルドピッチで1点を奪う。その裏雄峰は内野安打、盗塁などで一死三塁から2番白川が中堅に犠飛を打ちまた土壇場で追いつく。12回裏雄峰はこの回先頭5番瀧脇が内野安打で出塁するとすかさず二盗に成功。途中から右翼の守備についていた8番館森の打席で瀧脇が三盗を仕掛け、これが相手捕手の三塁悪送球を誘い一気に生還してサヨナラ。雄峰が延長12回3時間34分に渡る激闘を制した。